夏休み、26%の人が国内旅行

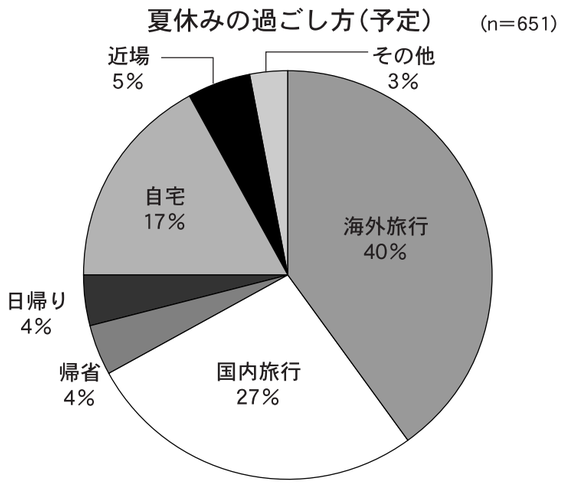
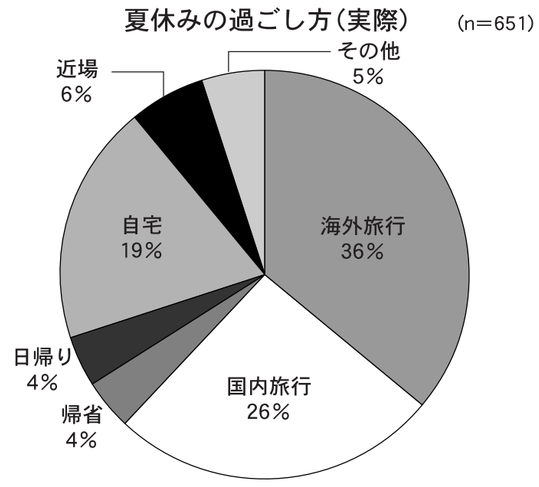
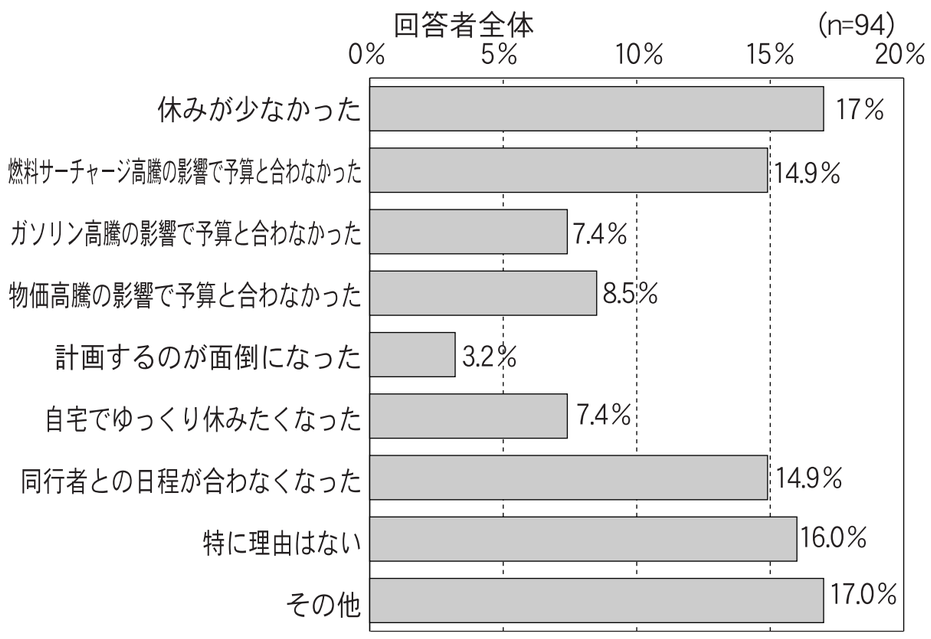
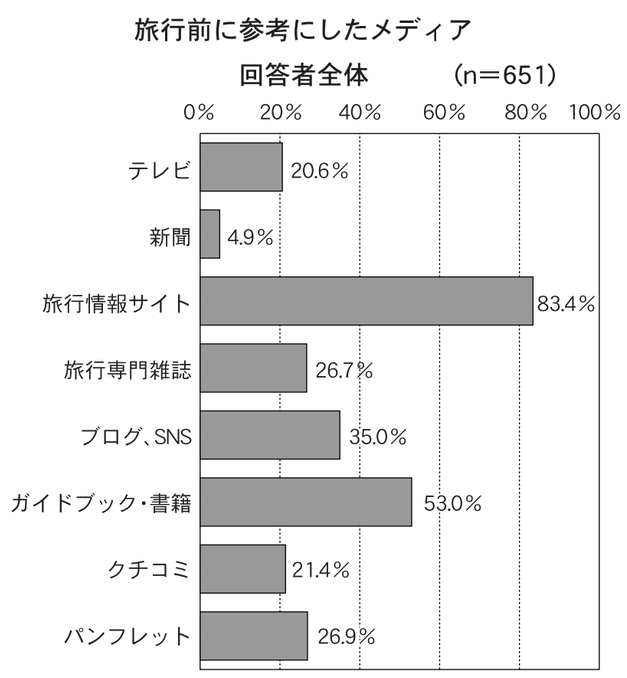
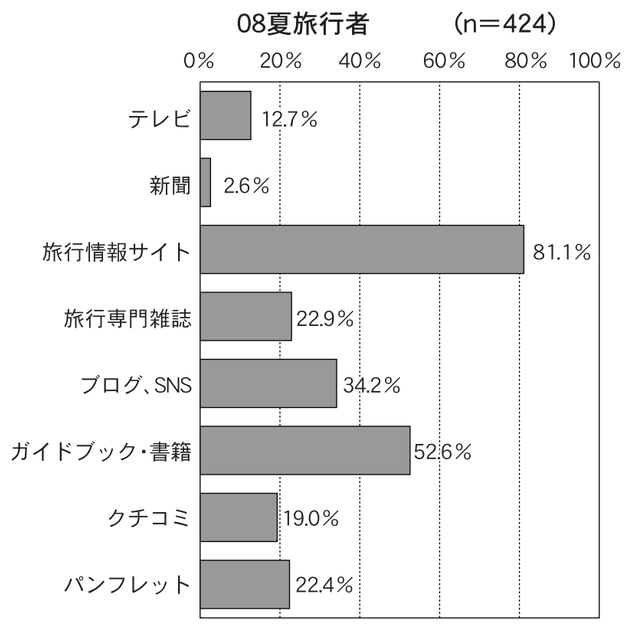
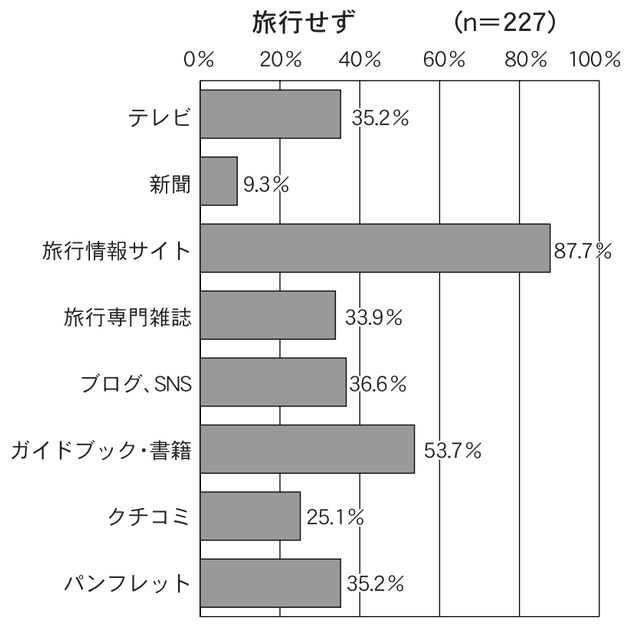
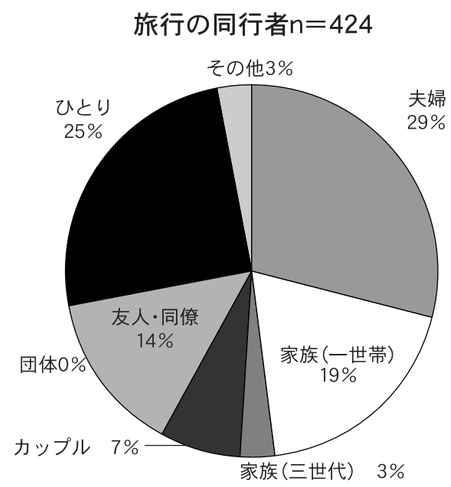
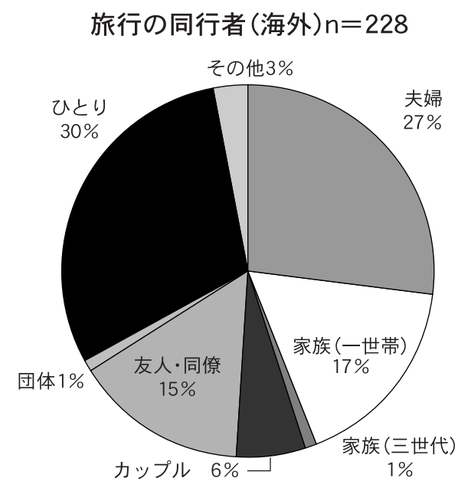
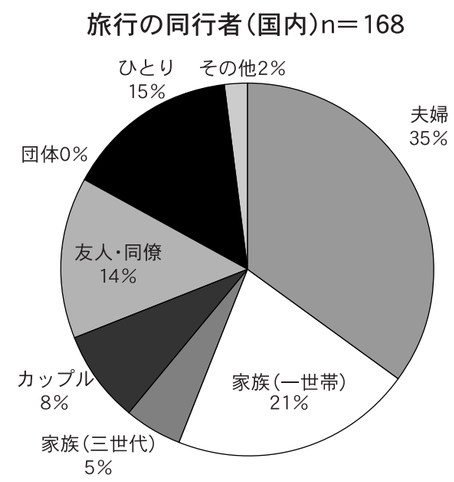
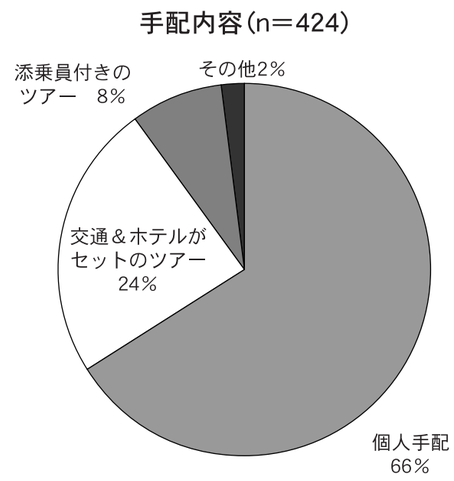
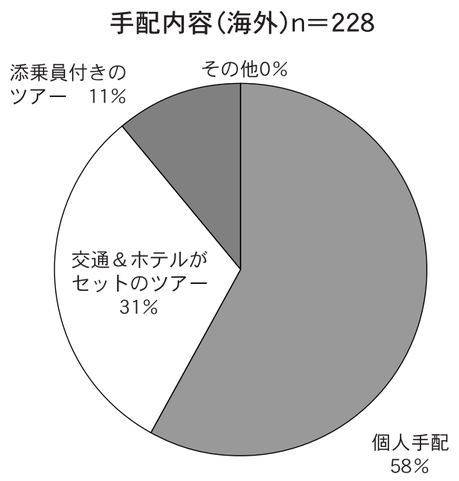
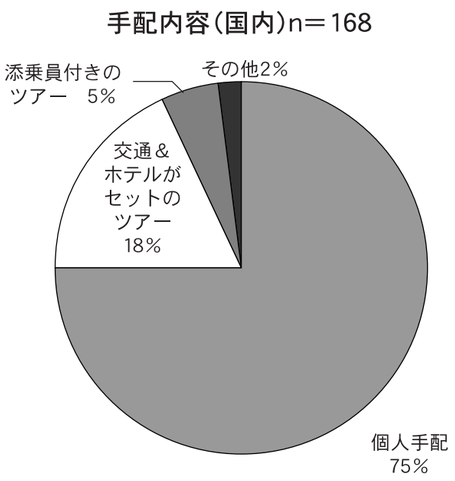
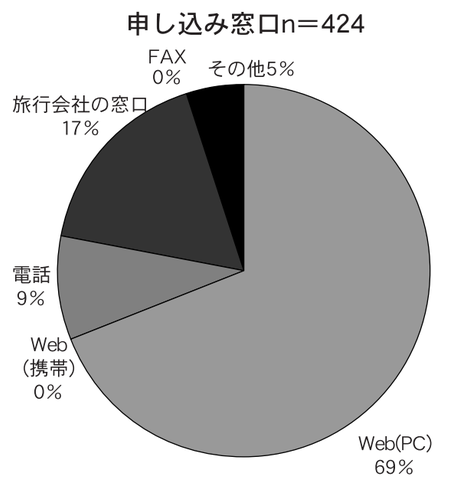
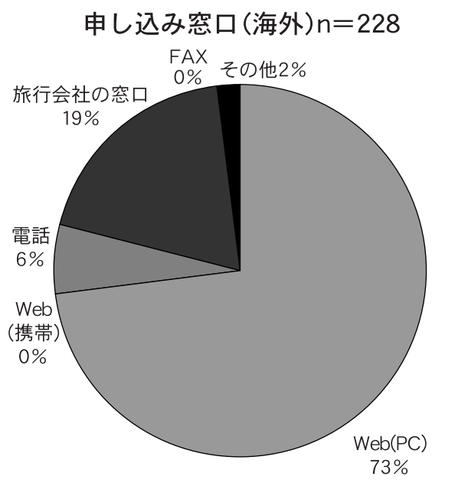
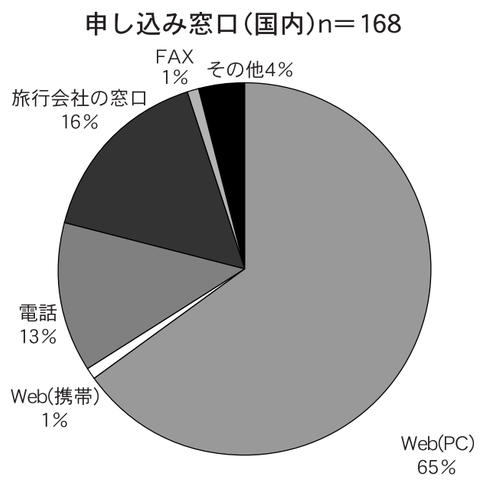
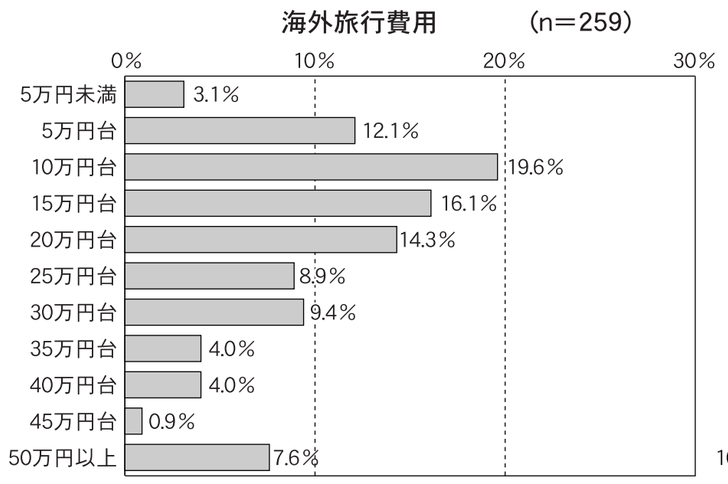
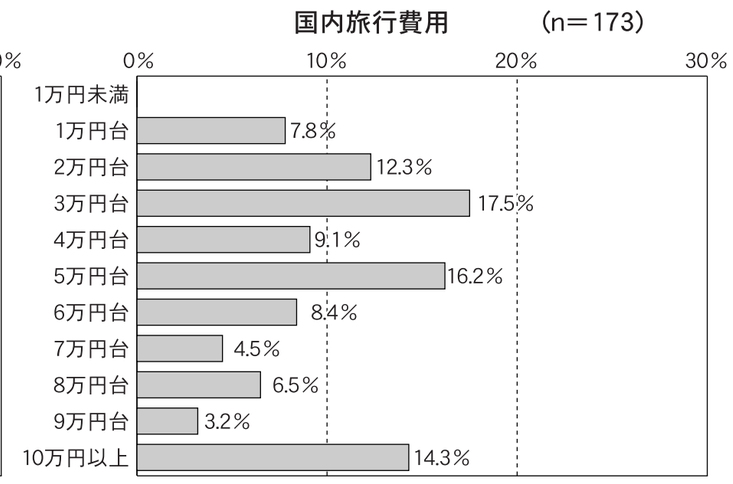
フォートラベル調査

フォートラベルは、旅行好きのフォートラベル利用者を対象に夏の旅行シーズンの動向を調査した。調査によると国内旅行を実施した人は全体の26%だった。旅行実態を明らかにした同調査の概要を紹介する。

夏休みに旅行を計画していた人は全体の67%で、実際に旅行を実施した人は全体の62%。旅行を計画しながら、何らかの事情で旅行へ行けなくなった人は、計画をしていた人の8%に過ぎない。旅を取りやめた理由としては、物価高や燃油サーチャージの高騰などを抑え、「休暇が少ない」がトップとなった。

同行者は、夫婦と1世帯での旅がほぼ半数を占め、「家族旅行」という位置づけの旅行比率が高い。また「1人」との回答も25%にのぼった。

手配内容については、海外、国内ともに、個人手配が圧倒的に多い。旅行の申し込み窓口は、海外、国内ともに、個人手配が圧倒的に多い。

1人当たりの旅行費用は、海外旅行で平均が21・3万円、国内旅行で平均が5・8万円となった。

旅行の参考にしたメディアは、参考メディアとしては、旅行情報サイトがトップ、ついで「ガイドブック、書籍」。旅行情報サイトなどで事前に現地情報などを調べ、実際に旅行に行くときは、ガイドブックを購入して旅先を回る人が多いと推測できる。